



ひょうちやく はかせ 漂着ごみ博士になろう!

日づけ 年 月 日 () 名前

Q1.どこからどんなものが、どうやってきたか考えよう。



街・家庭 (まち・かてい)

どんなもの?

-
-
-

どうやって?

浜・磯 (はま・いそ)

どんなもの?

-
-
-

どうやって?

森 林

どんなもの?

-
-
-

どうやって?

海

どんなもの?

-
-
-

どうやって?

田・畑

どんなもの?

-
-
-

どうやって?

会 社 ・ 工 場

どんなもの?

-
-
-

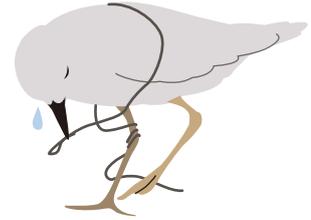
どうやって?



Q2. 漂着ごみがどんな影響をあたえるかを考え、
あてはまるものに○、あてはまらないものに×をつけよう。

生きものへの影響

- ひょうちやく
漂着ごみを食べる
- 動けなくなる
- 元気になる
- すみかにする



(海水浴等)への影響
観光・レジャー

- かんこうきゃく
観光客が減る
- かいがん
海岸をきれいにするためにお金がかかる
- 遊び道具に使える
- ケガをする



漁業への影響

- あみにひっかかる
- 船が動けなくなる
- ようしょく
養殖*しているのりにごみたまる
- 高く売れるごみがとれる



*のりを育てること



ひょうちやく はかせ
漂着ごみ博士になろう!

ひょうちやく へ かく
Q3.漂着ごみを減らすために、各場面でごみを出す人や
私たちができることを考えよう。



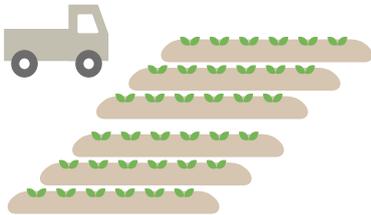
はま いそ
浜・磯で遊ぶとき



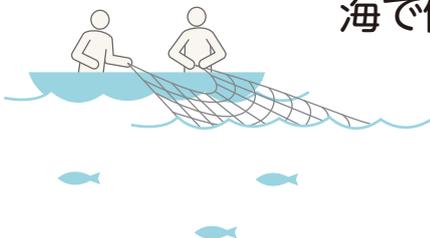
まち
街・家にいるとき



会社・工場で働くとき



田畑で働くとき(農家)



りょうし
海で働くとき(漁師) / 釣りをするとき



Q3.漂着ごみを減らすために、各場面でごみを出す人や私たちができることを考えよう。

ポイント

子ども達からは、幅広い意見がでるように促しましょう。
また、意見がでなかった場合は、ごみを減らすためには、「すぐにできること」から「より発展的なこと」まで、さまざまな可能性が考えられることを伝えましょう。

すぐにできること

より発展的なこと

浜・磯で遊ぶとき

- 海水浴などで出たごみは、持ち帰る
- 風でもものが飛ばされないように気をつける
- 海岸で遊び道具を忘れて帰らないようにする
- クリーンアップ活動に参加する
- 浜辺の生きものを見つけ、生きものに親しみをもつ

街・家にいるとき

- なるべくごみを出さない生活を送る
(よぶんなものは買わない、つめかえ商品を使う、ものを大切に長く使う等)
- ポイ捨てをしない、ポイ捨てされたごみを拾う
- ポイ捨てしている人を注意する
- 友だち30人にポイ捨てしないように伝える
- 街でのクリーンアップ活動に参加する
- 入れものをお店にもっていき、中身をいれてもらえる仕組みがあれば良い

会社・工場で働くとき

- なるべくごみを出さないようにする
- 働いている人にごみ減量の重要性を伝える・教育する
- 自然に分解される素材を使う
- プラスチックをつくらない
- 運送用の箱などが飛ばされても見つけられるような仕組みをつくる
- エコな(自然に分解される)素材をつくる

田畑で働くとき(農家)

- 肥料の袋や苗木ポットが、風で飛んだり、雨で流されないように気をつける
- 苗木ポットなど、必要な道具は、エコな(自然に分解される)素材をつくる・選ぶ

海で働くとき(漁師)／釣りをするとき

- 浮き、ブイが流されないように気をつける
- 魚を入れる発泡スチロール箱が飛ばないようにする
- 釣り道具が風に飛ばされないようにする
- 使えなくなった針や釣り糸などをポイ捨てしない
- うき、ブイなど、必要な道具は、エコな(自然に分解される)素材をつくる・選ぶ